

## 第2章

### 北谷町の現状と課題

1. 人口の推移と推計
2. 教育・保育施設や子育て支援事業等の状況
3. ニーズ調査結果より傾向まとめ
4. 次世代育成支援行動計画における関連施策の推進状況
5. 現状と課題のまとめ



## 第2章 北谷町の現状と課題

### 1. 人口の推移と推計

#### (1) 推計人口

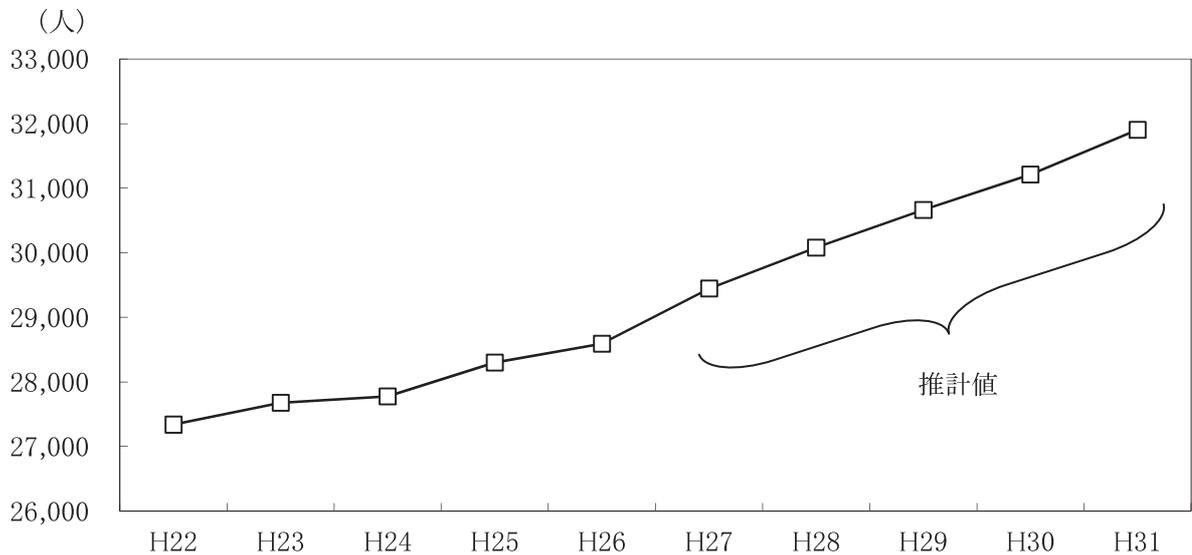
##### ① 総人口

総人口は今後も増加を続けていくと予測されます。平成25年から平成26年の増加人数が294人となっていますが、今後は一年当たり500人を超える増加が見込まれています。

実績値	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
実績人口	27,340	27,676	27,775	28,299	28,593
前年からの増加	—	336	99	524	294

推計値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成26年→平成31年
総人口推計値	29,447	30,078	30,664	31,208	31,904	+2,457
前年からの増加	854	631	586	544	696	

総人口



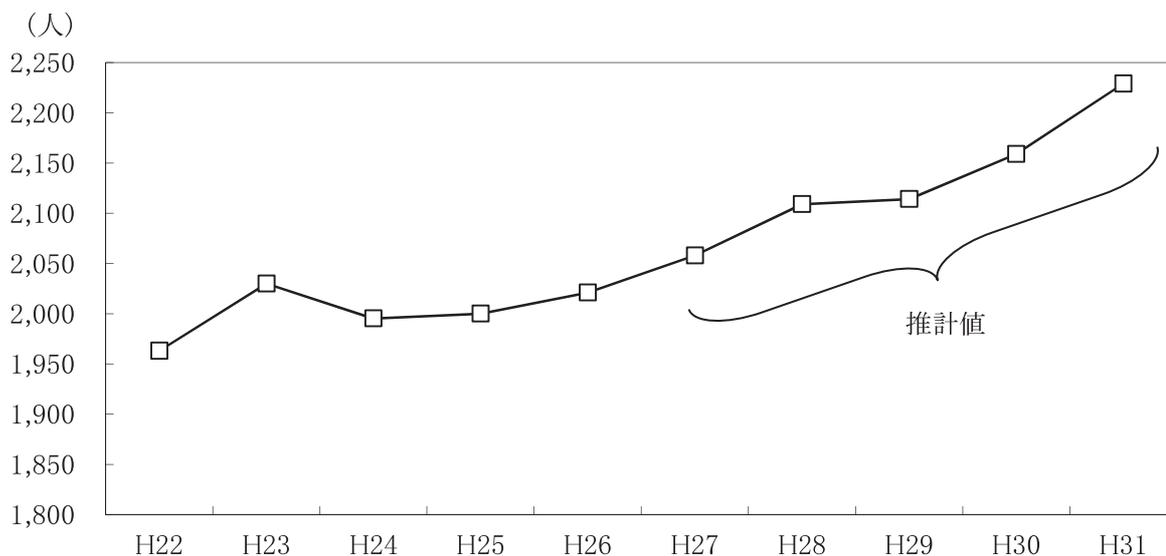
②0～5歳児（就学前児童）

0～5歳児は、平成27年と平成29年を除き、一年当たり50人前後の増加で推移すると見込まれています。

実績値	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
実績人口	1,963	2,030	1,995	2,000	2,102
前年からの増加	—	67	▲35	5	102

推計値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成26年→平成31年
総人口推計値	2,058	2,109	2,114	2,159	2,229	+127
前年からの増加	▲44	51	5	45	70	

0～5歳児人口



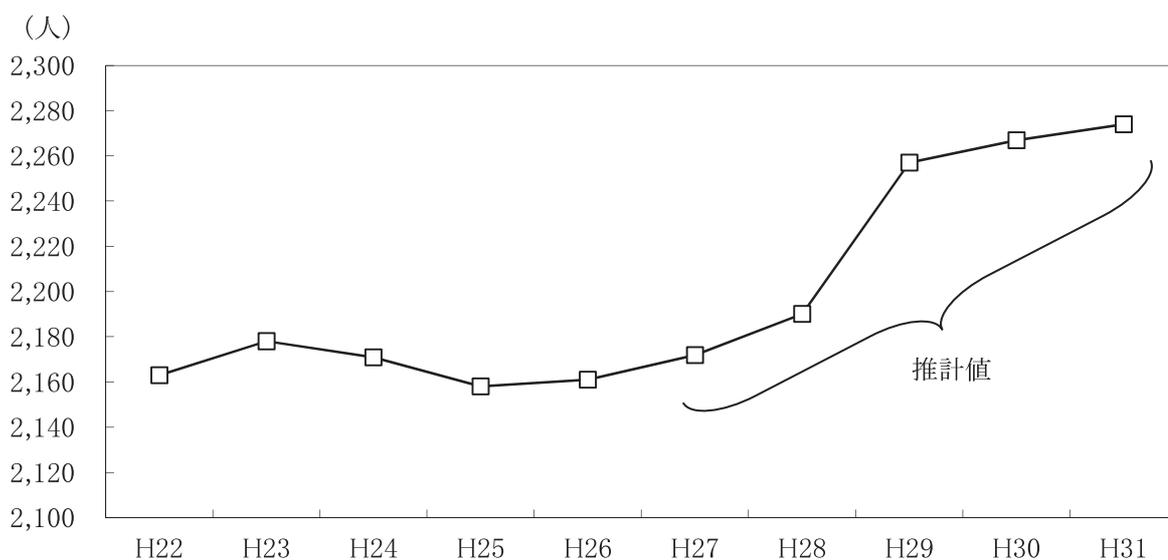
### ③ 6～11歳児（小学生）

6～11歳児は、実績では減少で推移してきたものの、平成27年以降は増加に転じると予測される。平成29年には突出した増加がみられますが、その他の年は概ね10人前後の増加と見込まれています。

実績値	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
実績人口	2,163	2,178	2,171	2,158	2,145
前年からの増加	—	15	▲7	▲13	▲13

推計値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成26年→平成31年
総人口推計値	2,172	2,190	2,257	2,267	2,274	+129
前年からの増加	27	18	67	10	7	

小学生(6～11歳児)

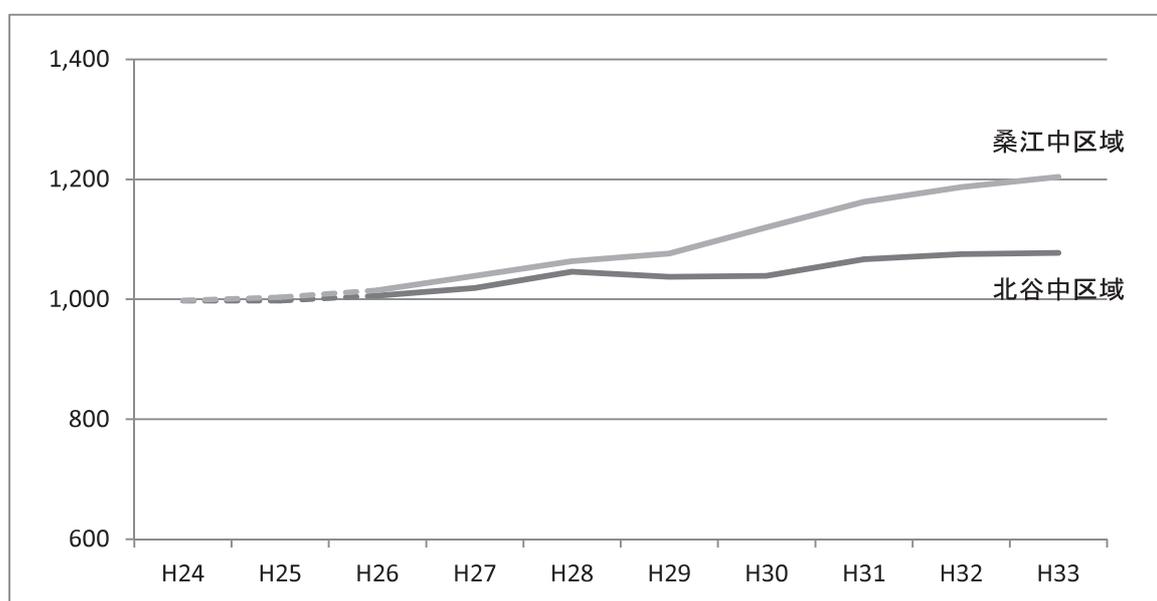


## (2) 区域別の推計人口

## ① 0～5歳児の推計

北谷中学校区、桑江中学校区ともに増加で推計されていますが、桑江中学校区は平成29年以降、大きく増加すると見込まれています。

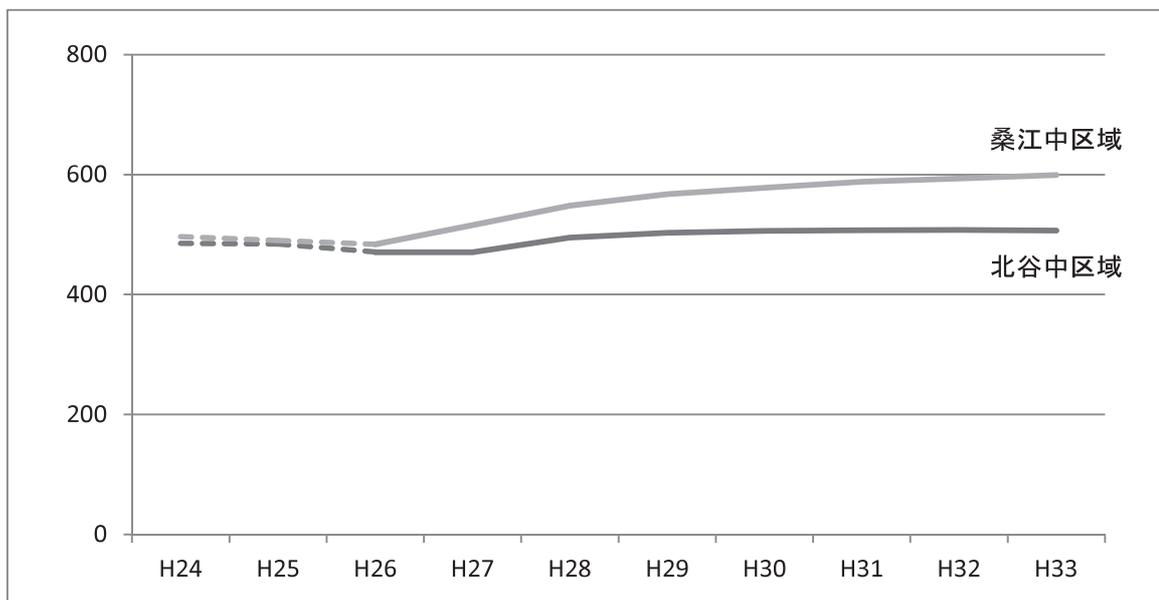
0～5歳児	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	平成 32年	平成 33年
総数	1,995	2,000	2,021	2,058	2,109	2,114	2,159	2,229	2,262	2,281
北谷中区域	997	997	1,006	1,019	1,046	1,037	1,039	1,066	1,075	1,077
桑江中区域	998	1,003	1,015	1,039	1,063	1,077	1,120	1,163	1,187	1,204



## ②0～2歳児の推計

0～2歳児でも0～5歳児と同様の傾向であり、桑江中学校区の方が増加が大きいと推計されています。北谷中学校区は平成29年以降は横ばい傾向での推移と予測されています。

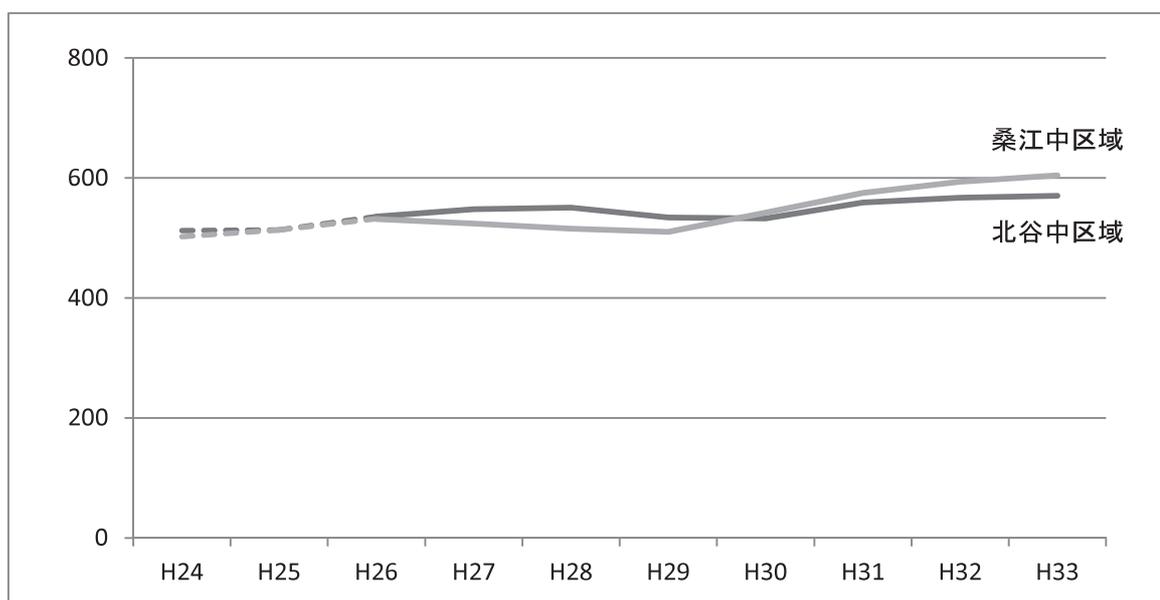
0～2歳児	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年
総数	981	974	954	986	1,043	1,070	1,084	1,095	1,101	1,106
北谷中区域	485	484	470	470	495	503	506	507	508	507
桑江中区域	496	490	484	516	548	567	578	588	593	599



## ③ 3～5歳児の推計

3～5歳児では、平成29年頃まで減少傾向ですが、平成30年以降では増加に転じます。平成30年以降では、桑江中学校区の方が北谷中学校区を上回ると予測されています。

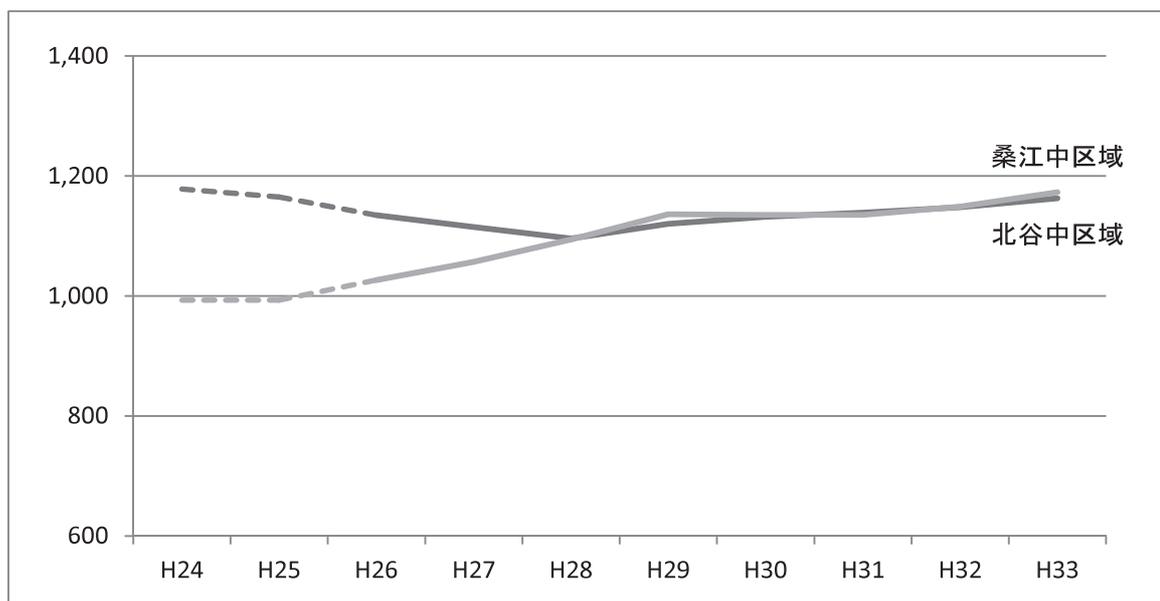
3～5歳児	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年
総数	1,014	1,026	1,067	1,072	1,066	1,044	1,075	1,134	1,161	1,175
北谷中区域	512	513	536	548	550	534	533	559	567	570
桑江中区域	502	513	531	524	516	510	542	575	594	605



#### ④ 6～11歳児(小学生)の推計

6～11歳の小学生にあたる世代では、桑江中学校区が平成29年まで急増し、その後は北谷中学校区と同程度の人数で推移すると推計されています。

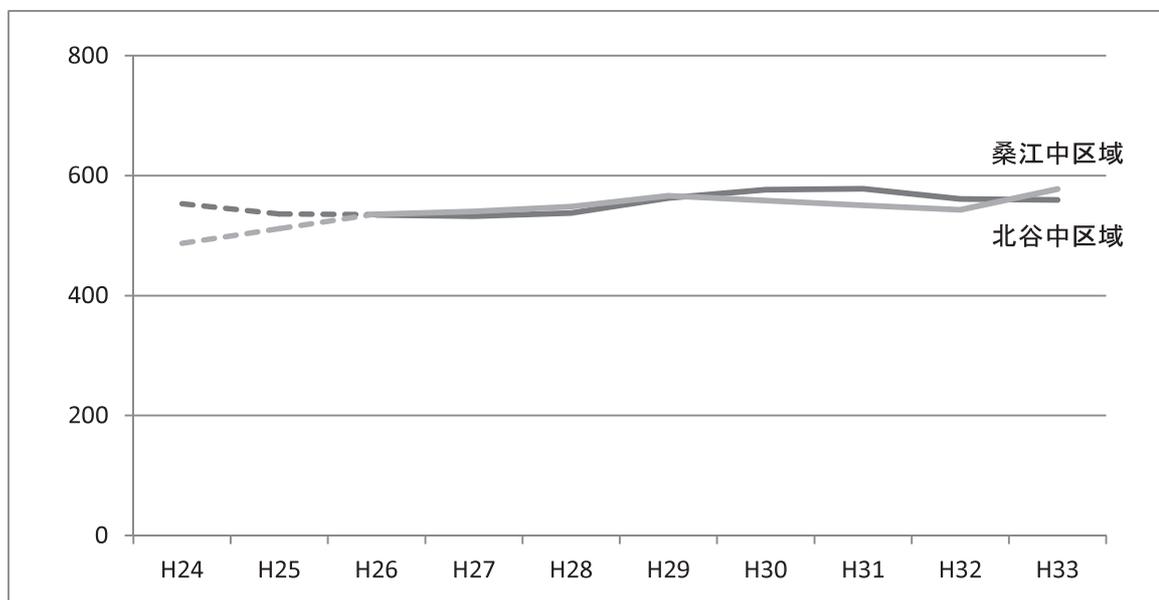
6～11歳児	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年
総数	2,171	2,158	2,161	2,172	2,190	2,257	2,267	2,274	2,297	2,336
北谷中区域	1,178	1,165	1,134	1,115	1,096	1,120	1,132	1,139	1,148	1,163
桑江中区域	993	993	1,027	1,057	1,094	1,137	1,135	1,135	1,149	1,173



⑤ 6～8歳児(小学校低学年)の推計

小学校低学年にあたる6～8歳児では、北谷中学校区、桑江中学校区とも平成29年まで増加傾向で推移します。その後、平成31年までは、北谷中学校区は増加傾向、桑江中学校区は減少傾向と予測されます。

6～8歳児	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年
総数	1,040	1,047	1,070	1,073	1,086	1,129	1,135	1,128	1,104	1,137
北谷中区域	553	536	535	532	537	562	577	578	561	559
桑江中区域	487	511	535	541	549	567	558	550	543	578



2. 教育・保育施設や子育て支援事業等の状況

(1) 保育所の状況

① 保育所入所申込児童数の推移

保育所の申込者数は増加傾向で推移しています。平成25年4月では812人です。前年より30人増加、平成21年からは81人伸びています。

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
3歳未満児	363	373	403	375	411
3歳以上児	368	374	383	407	401
総数	731	747	786	782	812

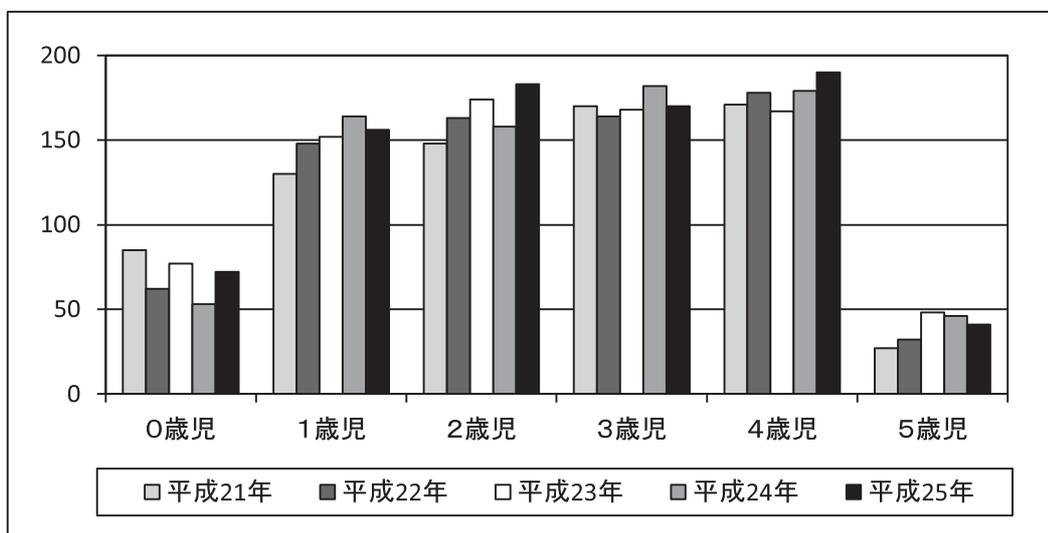
※各年4月1日現在

年齢別にみると、1～4歳は増加傾向にありますが、0歳児と5歳児は減少傾向にあります。平成25年では、4歳児の申し込みが190人でもっとも多く、次いで2歳児の183件となっています。

(年齢別内訳)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
0歳児	85	62	77	53	72
1歳児	130	148	152	164	156
2歳児	148	163	174	158	183
3歳児	170	164	168	182	170
4歳児	171	178	167	179	190
5歳児	27	32	48	46	41
総数	731	747	786	782	812

※各年4月1日現在



## ②保育所定員と入所児童数の推移

保育所は、平成23年から600人の定員となっており、以降の入所児童数は670～680人程度で推移しています。入所については弾力化による対応を行っています。弾力化は概ね115%前後で実施しており、入所児童数は平成25年で684人となっています。

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
定員	555	555	600	600	600
入所児童数	615	649	688	679	684
弾力化率	110%	116%	114%	113%	114%

※各年4月1日現在

### ②-1 保育所一覧（平成25年4月1日現在）

町内の保育所は、平成25年4月現在で公立3か所、法人4か所の計7か所整備されています。各園とも定員を上回る児童数を受け入れています。

また、入所児童数は4月の684人から10月には724人へと40人増加しています。その約半数が0歳児です。

保育所名	定員	入所児童数						
		計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
謝苜保育所	90	89	10	16	17	20	24	2
上勢保育所	60	72	0	9	19	15	22	7
美浜保育所	60	72	7	12	12	18	21	2
愛育保育園	150	168	11	33	35	35	37	17
ひだまり保育園	90	109	6	23	25	25	30	0
ファミリー保育園	90	99	7	17	24	20	27	4
絆保育園	60	75	7	12	18	18	17	3
総 数	600	684	48	122	150	151	178	35

※平成25年4月1日現在

## ②-2 保育所一覧（平成 25 年 10 月 1 日現在）

保育所名	定員	入所児童数						
		計	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
謝苜保育所	90	89	11	15	17	19	25	2
上勢保育所	60	76	0	11	19	17	22	7
美浜保育所	60	73	8	12	12	18	21	2
愛育保育園	150	180	17	36	36	36	38	17
ひだまり保育園	90	121	12	26	27	26	30	0
ファミリー保育園	90	102	12	18	24	18	27	3
絆保育園	60	83	11	15	18	18	18	3
総 数	600	724	71	133	153	152	181	34

※平成 25 年 10 月 1 日現在

## ②-3 4 月時点と 10 月時点の保育所入所児童数の比較

	総数	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
4 月児童数	684	48	122	150	151	178	35
10 月児童数	724	71	133	153	152	181	34
増加人数	40	23	11	3	1	3	▲1

※平成 25 年度実績

## ②-4 保育所一覧（平成 26 年 4 月 1 日現在）

平成 26 年 4 月は、定員を 660 人と前年より 60 人増やし対応しています。認可保育園は各園とも定員を上回る児童数となっています。年齢別では、3 歳児が 174 人でもっとも多いほか、2 歳児、4 歳児も 160 人台で非常に多いです。また、5 歳児が 84 人で、前年の 35 人から大きく増加しています。

保育所名	定員	入所児童数						
		計	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
謝苜保育所	90	87	6	17	18	19	22	5
上勢保育所	90	88	5	17	18	23	21	4
美浜保育所	60	68	4	12	14	15	19	4
愛育保育園	150	164	10	27	36	34	39	18
ひだまり保育園	90	123	6	22	27	28	22	18
ファミリー保育園	90	115	10	17	24	25	20	19
絆保育園	90	123	7	22	25	30	23	16
総 数	660	768	48	134	162	174	166	84

※平成 26 年 4 月 1 日現在

### ③保育所入所待機児童数の推移

保育所の待機児童数について各年4月の状況をみると、60～70人程度で推移しています。平成24年と平成25年にはそれぞれ69人、70人でしたが、平成26年には62人と微減しました。入所定員を増やしたことも要因の一つと考えられます。待機児童は3歳未満が多く、特に平成26年は待機児童の88.7%が3歳未満となっています。

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
3歳未満児	42	55	47	47	55	55
3歳以上児	19	15	11	22	15	7
総数	61	70	58	69	70	62

※各年4月1日現在

#### ③-1 年齢別の保育所入所待機児童数の推移

待機児童数を年齢別にみると、1歳児が特に多いです。平成26年では1歳児が待機児童の37%を占めています。また、平成26年では0歳児の待機が近年ではもっとも多く、19人となっています。1歳児と0歳児をあわせると、待機児童の67.7%を占めます。

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
0歳児	9	13	8	7	9	19
1歳児	21	25	21	25	25	23
2歳児	12	17	18	15	21	13
3歳児	15	11	6	11	8	6
4歳児	4	4	5	11	7	1
5歳児	0	0	0	0	0	0
総数	61	70	58	69	70	62

※各年4月1日現在

#### ③-2 4月時点と10月時点の待機児童数の比較

待機児童数を4月と10月の状況で比較すると、0歳児が4月は9人であったのに対し、10月では23人と大幅に増加しています。産休・育休明けでの保育所希望など、年度途中からの入所を希望する人が多いことが要因の一つとなっています。その他の年齢は数人の増減です。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平成25年4月	9	25	21	8	7	0	70
平成25年10月	23	25	19	9	4	0	80
増減	14	0	▲2	1	▲3	0	10

## ③-3 区域別(中学校区別)の待機児童数

	町全体	北谷中学校区	桑江中学校区
0歳児	19	4	15
1歳児	23	9	14
2歳児	13	5	8
3歳児	6	3	3
4歳児	1	1	0
5歳児	0	0	0
計	62	22	40

※平成26年4月1日現在

## ③-4 待機児童の保護者の就労状況

待機児童の保護者の就労状況をみると、常勤での就労中が53%でもっとも高く、次いで求職中の40%となっています。

	就労中		求職中	その他 (出産・看護・災害等)	合計
	常勤	非常勤			
人数	37	0	28	5	70
構成比	53%	0%	40%	7%	

※平成25年4月1日現在

## (2) 地域子ども・子育て支援の状況

### ①地域子ども・子育て支援事業の実施保育所の状況

#### ア) 土曜日の保育

町内の保育所全園で土曜日の保育を行っています。実施時間は7:00～13:00ですが、法人保育園では保護者の勤務時間に応じて、18:00までの延長も可能としています。

#### イ) 延長保育

町内の全ての保育所で実施しています。

#### ウ) 一時預かり・特定保育

一時預かりは公立保育所2カ所、法人保育園1カ所で実施しています。

特定保育は公立保育所2カ所、法人保育園2カ所で実施しています。

保育所名	土曜日の保育		延長保育	一時預かり	特定保育	地域子育て支援センター
	実施箇所	時間帯				
謝苜保育所	○	7:00～13:00	○	○	○	○
上勢保育所	○	7:00～13:00	○	○	○	
美浜保育所	○	7:00～13:00	○			
愛育保育園	○	7:00～13:00	○		○	
ひだまり保育園	○	7:00～13:00	○			○
ファミリー保育園	○	7:00～13:00	○	○	○	○
絆保育園	○	7:00～13:00	○			

※平成25年4月1日現在

#### ①-1 延長保育事業の利用状況

延長保育事業は平成23年度まで利用が増加し、その後は延べ利用人数10,000人台で推移しています。平成25年度は利用延べ人数が10,377人となっています。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年間利用延べ人数	818	9,217	13,374	11,799	10,377

#### ①-2 一時預かりの利用状況

一時預かりは年間利用延べ人数が1,100～1,500人程度で推移しています。平成26年度は前年より大きく増加し、1,506人となっています。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年間利用延べ人数	1,168	1,302	1,365	1,183	1,506

## ①-3 特定保育の利用状況

特定保育利用者は、平成 21 年度の 875 人から平成 25 年度には 1,609 人へと概ね増加しています。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年間利用延べ人数	875	947	1,467	688	1,609

## ①-4 地域子育て支援拠点事業の利用状況

町内には地域子育て支援センターが 3 カ所あり、相談や子育て家庭の交流の場等となっています。年間の利用延べ人数は平成 25 年度で 16,641 人、1 カ所 1 日あたり 20 人程度利用しています。

名称	年齢	年間利用延べ人数				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
謝苜保育所 子育て支援センター	3歳未満	3,707	3,083	2,093	1,899	2,221
	3歳以上	1,153	920	915	1,107	825
	計	4,860	4,003	3,008	3,006	3,046
ひだまりの里 子育て支援センター	3歳未満				4,185	2,699
	3歳以上				7,085	8,264
	計	9,951	13,128	8,320	11,270	10,963
ちゅらはまみはま	3歳未満					
	3歳以上					
	計	2,664	3,248	4,279	3,437	2,632
合 計		17,475	20,379	15,607	17,713	16,641

## ②病児・病後児保育事業

病児・病後児保育は、利用延べ人数は平成21年度は478人となっていましたが、その後は減少し、平成25年度実績は251人となっています。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年間利用延べ人数	478	268	358	252	251

## ③ファミリーサポートセンター事業

ファミリーサポートセンターの会員数をみると、「おねがい会員」は年々増加しており、平成25年度には425人となっています。「まかせて会員」も増加していますが、平成25年度で89人であり、預かる会員が少ない状況にあります。

利用状況をみると、年間延べ利用人数は平成25年度で3,221件で、前年度よりも795件増加しています。利用の77.8%は就学前児童が占めています。小学生での利用は715件となっています。

### ③-1 会員数

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
おねがい会員	153	227	272	346	425
まかせて会員	35	52	64	74	89
どっちも会員	10	23	26	33	44

### ③-2 延べ利用人数

	年間延べ利用人数				
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
0歳～5歳児				1,801	2,506
小学生				625	715
合計	1,057	1,577	2,262	2,426	3,221

## ④放課後児童クラブ(学童クラブ)の推移

町内には8か所の放課後児童クラブ(学童クラブ)があり、年間240人が利用しています。1年生の利用がもっとも多く、平成25年度では104人となっています。4年生以上の高学年になると利用は非常に少なくなります。

また、本事業は小学生の放課後対策として実施するものですが、未就学児の利用が41人(平成25年4月現在)となっています。

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
クラブ数	5	5	5	5	5
利用者数計	227	196	180	202	240
未就学児	31	22	8	54	41
1年生	94	75	83	84	104
2年生	56	65	47	44	66
3年生	29	22	34	14	20
4年生以上	17	12	8	6	9

※各年4月時点

名称	地区 (字名)	利用者数					
		計	未就学児	1年生	2年生	3年生	4年以上
ひだまり学童	桃原	58	17	22	18	1	0
なかよし学童	吉原	30	0	16	5	6	3
ふれんど学童	宮城	32	4	16	12	0	0
学童教室太陽の子(本校)	吉原	72	13	37	16	4	2
学童教室太陽の子(上勢校)	上勢頭	48	7	13	15	9	4
総数		240	41	104	66	20	9

※平成25年4月1日現在

### (3) 認可外保育施設

#### ① 認可外保育施設の状況

町内には、認可外保育施設が23か所あり、平成25年4月現在で904人を受け入れています。町内は外国人が多いこともあり、外国人向けの保育施設も多いです。全体の半分程度がこれにあたります。

施設名	地区 (字名)	利用者数						
		計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
We Care International Preschool	上勢頭	55	6	9	6	15	11	8
ちびっこ育児園	上勢頭	28	4	7	7	4	6	0
United Christian Daycare and Pre-K Academy	上勢頭	47	2	7	6	8	15	9
イーストウェストモンテソーリ スクール	上勢頭	41	0	0	4	10	12	15
中央保育園	桑江	52	0	7	14	15	16	0
にらい保育園	桑江	41	3	10	15	8	5	0
たんぼぼ乳児園	宇地原	13	3	6	4	0	0	0
Golden Mind Achievers	宇地原	63	9	10	12	16	8	8
Ai International Preschool	北前	74	5	11	25	18	15	0
育伸北前幼児園	北前	3	0	0	2	0	1	0
キティキャッスル国際保育センター	北前	27	0	2	7	9	7	2
子どもの森	北前	19	0	1	5	4	7	2
サンシャインモンテソーリスクール	北前	89	8	9	24	20	20	8
Busy Bee School	北前	37	0	0	7	6	12	12
マザーグース保育園	北前	24	1	4	9	8	2	0
マミール保育園	北前	46	3	7	11	10	15	0
オキナワモンテソーリスクール	宮城	24	0	0	3	4	11	6
はっぴーらんど保育園	宮城	27	2	3	4	12	6	0
リトルエンジェルインターナショナルプリスクール	宮城	13	1	5	0	3	1	3
Baby123	宮城	25	3	1	9	9	2	1
つぼみ保育園	宮城	35	0	5	15	9	6	0
サンタモニカインターナショナルキッズ	浜川	60	0	6	12	13	15	14
レインボーモンテソーリエデュケーションセンター	砂辺	71	4	10	16	25	13	3
総 数		914	54	120	217	226	206	91

※平成25年4月1日現在

### ①-1 町内の認可外保育施設の市町村別の利用状況

町内の認可外保育施設の市町村別の利用状況を見ると、町内からの利用が 375 人で圧倒的に多く 48%を占めていますが、これに次いで「基地内」が 201 人と非常に多く、利用者の 25%を占めています。そのほか、宜野湾市、沖縄市からの利用が比較的多くなっています。

計	那覇市	宜野湾市	浦添市	沖縄市	うるま市	読谷村	嘉手納町	北谷町	中城村	その他	基地内
783	5	69	5	69	6	20	15	375	12	6	201

※県資料より(沖縄県第2回子ども・子育て会議資料 資料3より)

### ①-2 町外の認可外保育施設の利用状況

町外の認可外保育施設の利用状況を見ると、沖縄市の施設利用がもっとも多く 46 人、嘉手納町が 26 人、宜野湾市が 16 人、恩納村が 4 人、その他が 6 人となっています。

計	宜野湾市	沖縄市	恩納村	嘉手納町	その他
98	16	46	4	26	6

※県資料を参考(沖縄県第2回子ども・子育て会議資料 資料3より)

#### (4) 幼稚園の状況

##### ① 公立幼稚園の受入児童数推移

公立幼稚園の受け入れは5歳児のみの1年保育であり、毎年、260人～270人くらいで推移しています。平成25年は262人となっています。

午後の預かり保育は全園で実施しており、平成25年は120人が利用しています。また、給食も実施しています。

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
3歳児	-	-	-	-	-
4歳児	-	-	-	-	-
5歳児	263	260	269	263	262
総数	263	260	269	263	262

##### ①-1 公立幼稚園別の入園状況

施設名	定員	入園者数				午後の預かり保育		
		計	3歳児	4歳児	5歳児	定員	利用者数	給食有無
北谷幼稚園	無	53	-	-	53	無	20	有
北玉幼稚園	無	76	-	-	76	無	41	有
浜川幼稚園	無	60	-	-	60	無	29	有
北谷第二幼稚園	無	73	-	-	73	無	30	有
総数		262			262		120	

※平成25年5月1日現在

※「午後の預かり保育」定員 … 原則として1学級30人以下。年度途中の学級増はしない。

##### ② 私立幼稚園

町内に私立幼稚園はありませんが、町外の園の利用者が80人となっています。利用先の市町村は、嘉手納町が39人でもっとも多く、沖縄市が17人、宜野湾市が13人等となっています。

計	宜野湾市	沖縄市	うるま市	嘉手納町	北中城村	中城村	その他
80	13	17	4	39	2	4	1

※県資料より(沖縄県第2回子ども・子育て会議資料 資料3より)

## (5) その他

## ①放課後子ども教室の推移

放課後子ども教室の実施数は、平成 25 年度で 12 カ所となっており、前年度から 2 カ所増となっています。利用者も増えており、平成 25 年度は 273 人が利用しています。1 年生から 6 年生まで幅広い利用となっていますが、低学年での利用が比較的多いです。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
子ども教室数	16	11	9	10	12
利用者数計	282	312	229	197	273
1 年生	38	54	40	41	69
2 年生	44	80	45	46	48
3 年生	81	71	59	28	67
4 年生	59	53	43	26	34
5 年生	37	39	33	12	36
6 年生	23	15	9	44	19

## ①-1 放課後子ども教室の利用状況

名 称	地区 (学校)	利用者数						
		計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
北谷っ子(チャレンジ)	北谷小	28	8	9	8	0	3	0
〃 (英会話)	北谷小	34	9	9	12	0	4	0
北玉チャレンジ(英会話)	北玉小	13	5	4	2	2	0	0
〃 (琉舞)	北玉小	10	5	2	0	2	0	1
〃 (チャレンジ)	北玉小	26	3	5	2	2	11	3
浜川っ子(三線)	浜川小	15	0	0	6	5	3	1
〃 (英会話)	浜川小	24	0	0	14	8	1	1
〃 (茶道)	浜川小	13	0	3	8	0	2	0
北二っ子(英会話)	北谷第二小	49	22	9	6	5	4	3
〃 (茶道)	北谷第二小	38	15	2	6	8	2	5
しまくとぅば	ちゃたんエリセンター	12	1	1	2	0	3	5
サタデースクール	上勢区公民館	11	1	4	1	2	3	0
総 数		273	69	48	67	34	36	19

※平成 25 年度の状況

## ②児童館の推移

町内の児童館は3カ所あり、平成25年度の利用延べ人数は49,716人となっています。1カ所で1ヶ月当たり1,381人が利用している換算となります。利用は小学校低学年が多く、利用の約7割を占めています。

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
児童館数	3	3	3	3	3
延べ利用者数計	51,793	51,966	50,300	50,836	49,716
1年生	11,093	14,913	10,007	12,545	12,540
2年生	10,676	11,823	12,474	9,730	10,175
3年生	9,668	8,381	11,385	10,714	10,095
4年生	9,778	7,461	5,842	7,516	6,443
5年生	4,286	4,982	5,561	4,322	6,574
6年生	3,673	2,130	3,643	4,465	2,411
中学生以上	2,619	2,276	1,388	1,544	1,478

## ②-1 児童館の利用状況

名 称	地区 (学校)	利用者数						
		計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
上勢桑江児童館	北谷・北谷第二	17,849	5,332	2,960	4,056	2,200	2,120	1,181
宮城児童館	浜川	11,359	3,133	2,529	2,886	1,371	1,294	146
北玉児童館	北玉	19,030	4,075	4,686	3,153	2,872	3,160	1,084
総 数		48,238	12,540	10,175	10,095	6,443	6,574	2,411

※平成25年度の状況

(6) 区域別の状況

①北谷中学校区域										
総人口 (H25. 4)	14,562	<p>子ども人口の推計</p>								
0~5歳児 (H25. 4)	997									
6~11歳児 (H25. 4)	1,165									
保育所	3ヶ所		上勢保育所		ひだまり保育園		絆保育園			
	利用者		定員	計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
		(H25. 4)	210人	256人	13人	44人	62人	58人	69人	10人
		(H25. 10)	210人	275人	23人	52人	64人	61人	70人	5人
		(H26. 4)	270人	334人	18人	61人	70人	81人	66人	38人
待機児童(H26. 4)		22人	4人	9人	5人	3人	1人	0人		
地域子ども・子育て支援事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育(3ヶ所)</li> <li>・一時預かり(1ヶ所)</li> <li>・特定保育(1ヶ所)</li> <li>・地域子育て支援センター(1ヶ所)</li> <li>・病児・病後児保育(ヶ所)</li> </ul>								
認可外 保育施設	6ヶ所		We Care International Preschool United Christian Daycare and Pre-K Academy イーストウェストモンテソーリ スクール ちびっこ育児園 中央保育園 にらい保育園							
	利用者		定員	計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
	(H25. 4)			264人	15人	40人	52人	60人	65人	32人
幼稚園	2ヶ所		北谷幼稚園 北谷第二幼稚園(2ヶ所とも預かり保育あり)							
	利用者		126人(定員無し)			預かり保育利用者		50人(定員無し)		
小学校	2ヶ所		北谷小学校 北谷第二小学校							
放課後児童 クラブ	4ヶ所		ひだまり学童			学童教室太陽の子(本校)				
			なかよし学童			学童教室太陽の子(上勢校)				
	利用者		計	未就学児	1年	2年	3年	4年以上		
		208人	37人	88人	54人	20人	9人			
児童館	1ヶ所		上勢桑江(わんぱく)児童館							

②桑江中学校区域

総人口 (H25. 4)	13,737	子ども人口の推計									
0～5歳児 (H25. 4)	1,003										
6～11歳児 (H25. 4)	993										
保育所	4ヶ所		謝苜保育所 美浜保育所		愛育保育園		ファミリー保育園				
	利用者		定員	計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
		(H25. 4)		390人	428人	35人	78人	88人	93人	109人	25人
		(H25. 10)		390人	444人	48人	81人	89人	91人	111人	24人
		(H26. 4)		390人	434人	30人	73人	92人	93人	100人	46人
	待機児童(H26. 4)		40人	15人	14人	8人	3人	0人	0人		
地域子ども・子育て支援事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育(4ヶ所)</li> <li>・一時預かり(2ヶ所)</li> <li>・特定保育(3ヶ所)</li> <li>・地域子育て支援センター(2ヶ所)</li> <li>・病児・病後児保育(ヶ所)</li> </ul>									
認可外 保育施設	17ヶ所	たんぽぽ乳児園				Golden Mind Achievers					
		Ai International Preschool				サンタモニカインターナショナルキッズ					
	キティキャッスル国際保育センター				レインボーモンテソーリオブケイションセンター						
		はっぴーらんど保育園				リトルエンジェルインターナショナルプリスクール					
		サンシャインモンテッソーリスクール				Busy Bee School		育伸北前幼児園			
		マミール保育園				オキワモンテッソーリスクール		Baby123			
		つぼみ保育園				マザーグース保育園		子どもの森			
	利用者	定員	計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		
	(H25. 4)		650人	39人	80人	165人	166人	141人	59人		
幼稚園	2ヶ所		北玉幼稚園 浜川幼稚園(2ヶ所とも預かり保育あり)								
	利用者	136人(定員無し)			預かり保育利用者		70人(定員無し)				
小学校	2ヶ所		北玉小学校 浜川小学校								
放課後児童 クラブ	1ヶ所		ふれんど学童								
	利用者	計	未就学児	1年	2年	3年	4年以上				
		32人	4人	16人	12人	0人	0人				
児童館	2ヶ所		宮城(わくわく)児童館 北玉(ハッピー)児童館								

### 3. ニーズ調査結果より傾向まとめ

#### (1) 子育て家庭の状況について

- 相談先は、身近な人以外では、「保育士」「学校の先生」が高くなります。
- 家庭等で保育している人はあまり相談先がない、しかも、教育・保育サービス利用者よりも悩みを抱えている比率が高くなります。
- 子育てに孤独を感じる比率も家庭保育者の方がやや高くなります。
- 子育て支援で地域に望むことは、「犯罪」「交通安全」「危険な遊び」「いじめ」について地域の見守りが高いです。

#### (2) 母親の就労について

- （就学前）「フルタイムで就労」が約4割、「パート・アルバイト」が約3割、「働いていない」が約3割あります。
- （就学前）現在働いていない母親のうち、就労希望が7割を占めます。（パート・アルバイト希望が7割以上）
- 現在働いていない母親の約6割が、教育・保育サービスを利用しています。利用先は「認可外保育施設」が多く4割以上あります。

#### (3) 教育・保育サービスの利用について

- 教育・保育サービスを利用している家庭は8割を占めます。1歳児からの利用が非常に高いですが、0歳児でも約4割が預けています。
- 預け先では「認可外の保育施設」が29%、「法人の保育所」が26%です。
- 「空きがない」ために利用していない人は2割半ばです。
- 現在利用している教育・保育サービスを今後も希望する人が概ね8割以上となっていますが、現在「認可外保育施設」を利用している人では、今後も認可外を希望する比率は4割と低く、保育所の希望が4割程度みられます。
- 教育・保育サービスを利用する際は、「居住地の近く」が非常に高く望まれています。
- 現在は町外の保育施設に預けている比率が13.8%、しかし、町外を希望する比率は1.9%あります。
- 幼稚園に3歳から通わせたいという声は約3割、4歳から通わせたいという声は約2割となっています。

#### (4) 土曜・日曜・祝日の教育・保育サービスの利用希望について

- 土曜日は6割、日曜・祝日は約3割の利用希望となっています。

### (5) 放課後児童クラブの利用や希望について

- 就学前では小学校低学年の時期に利用したいという声が約4割あります。しかし、小学生への調査では、現在の利用が約2割(1年生の利用は約3割)となっています。
- 小学1年生の放課後児童クラブの利用希望は5割です。3年生でも29.9%あります。
- 浜川小学校で比較的希望が高いです(4割強)。
- 放課後児童クラブの実施場所は、「学校敷地内の専用施設」「学校の余裕教室」といった声が高いです。
- 放課後児童クラブを利用していない理由では、料金が高いという回答が約4割を占めます。

### (6) 児童館について

- 児童館の利用は45%程度です。北谷中学校区、桑江中学校区とも同程度の利用率です。
- 利用しない理由としては、近くにないからという回答が2割程度あります。小学校では北谷小学校が約30%、浜川小学校が24%でほかの2校より高いです。

### (7) 育児休業について

- 取得した人は約35%です。
- 希望する育児休業期間より早く復帰した人では、経済的理由とする人が42%、希望する保育所に入るためという回答が36%あります。
- 希望より遅く復帰した理由では、希望する保育所に入れなかったからという回答が6割あります。

## 4. 次世代育成支援行動計画における関連施策の推進状況

### (1) 計画の実施状況(前期)

#### 【平成17年度実績】

要保護児童対策地域協議会の発足

北谷町第1保育所建て替えによる定員枠の拡大(平成18年9月完成予定)

地域子育て支援センター事業の推進(第1保育所建て替え時に併設)

認可保育園の創設(設置運営者の決定、社会福祉法人設立に向けた準備)

#### 【平成18年度実績】

北谷町第1保育所建て替えによる定員枠の拡大(平成18年9月完成)

地域子育て支援センター開設(第1保育所建て替え時に併設)

認可保育園の創設(認可保育園建設事業H19.4開園)

第1保育所建て替えにより0歳児保育、延長保育開始。一時保育の定員3人→10人に増。

第3保育所において一時保育開始(H18.5より)

#### 【平成19年度実績】

認可保育園の創設(認可保育園建設事業H19.4開園)

子育て支援拠点施設(ひろば型)開設(H19.4開園の認可園に併設)

延長保育全園実施(5か所→7か所)

障害児保育公立保育所全園受入(3か所→4か所)

ファミリーサポートセンター設立支援事業(H20.4設立に向けた準備)

乳幼児医療費助成事業の拡大(入院・通院とも小学校就学前までを対象に無料化)

こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)・育児支援家庭訪問事業開始

#### 【平成20年度実績】

ファミリーサポートセンター設置(H20.4)

認可保育園の定員拡大に向けた取組(H21.4定員増15名)

障害児保育→特別支援保育に改正(対象児童拡大)

特別支援保育の認可保育園での実施に向けた取組(H21.4より、認可園1カ所受入開始)

発達支援のための、健診フォロー教室(親子教室)開始(H21.3より)

#### 【平成21年度実績】

ファミリーサポートセンターの広域実施に伴い、病児・緊急対応強化モデル事業の実施(H21.4)

認可保育園の定員拡大(H21.4定員増15名)

特別支援保育の実施保育所拡大(H21.4、認可園1カ所受入開始)

発達に関する相談支援体制の充実(H21.4、臨床心理士を配置)

放課後児童クラブにおいて、障害児受入加算の補助(1か所)

## ★特定14事業の進捗状況

本計画の具体事業のうち、厚生労働省が定める子育て支援サービス等の特定14事業について、実施状況は次のとおりです。

事業名	計画策定時 (平成16年度)		目標事業量 (平成21年度)		平成22年3月現在	
	人数	箇所数	人数	箇所数	人数	箇所数
通常保育(保育園の設置)	450人	6か所	600人	7か所	570人	7か所
延長保育	—	4か所	—	6か所	—	7か所
夜間保育	0人	0か所	—	—	0人	0か所
トワイライトステイ	0人	0か所	—	—	0人	0か所
休日保育	0人	0か所	10人	2か所	0人	0か所
放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	45人	1か所	105人	4か所	135人	4か所
病後児保育(派遣型)	0人	0か所	—	—	—	—
病後児保育(施設型)	6人	1か所	6人	1か所	6人	1か所
ショートステイ	0人	0か所	—	—	—	—
一時保育事業	3人	1か所	20人	2か所	23人	3か所
特定保育	0人	0か所	—	—	—	0か所※1
ファミリー・サポート・センター 事業	—	0か所	—	1か所	—	1か所
地域子育て支援センター事業	—	1か所	—	3か所	—	3か所
つどいの広場事業	—	0か所	—	—	—	0か所※2

※1 一時保育の中に、特定保育の内容を含んで実施している

※2 地域子育て支援センターのうち1か所はつどいの広場事業として実施している

## (2) 計画の実施状況(後期)

### 【平成22年度実績】

乳幼児医療費助成の拡充(入院分→中学校卒業まで)→こども医療費へ  
 認可保育園の定員拡大に向けた建替整備(H23.4 定員増 30名)  
 認可外保育施設の保護者負担軽減制度創設に向けた取り組み(H23.4 開始)  
 ひとり親家庭のファミリーサポートセンター利用支援事業の開始  
 栄口・上勢保育所の統合整備計画策定

### 【平成23年度実績】

認可保育園建て替えによる定員拡大(H23.4 定員増 30名)  
 認可外保育施設の保護者負担軽減制度創設  
 認可外保育施設への補助メニューの追加(行事費、損害賠償保険料)  
 ひとり親家庭のファミリーサポートセンター利用支援事業を低所得者世帯まで拡大  
 栄口・上勢保育所の統合整備計画の推進  
 認可保育園での特別支援保育事業の拡充に向けた取り組み(H23.4 : 5園→H24.4 : 6園)  
 病児病後児保育の利用負担金軽減に向けた取り組み(H24.4 より、負担金減)  
 こども健康相談事業開始  
 乳幼児健診未受診者への訪問事業開始

### 【平成24年度実績】

公立保育所整備(H25.10月完成予定) : 整備後、定員 30名増  
 公立保育所の法人移管(H24.4月)→法人保育所の整備事業(H26.1月保育事業開始予定) : 整備後、定員 30名増  
 町有地への認可保育園の誘致及び選定(H26.4月保育事業開始)  
 ※夜間保育事業を行うことを公募条件とした。  
 乳幼児健康支援一時預かり事業の利用料減額(2,500円→1,500円)  
 保育料算定に係る寡婦控除のみなし適用  
 認可保育園における特別支援保育事業の拡充(2園増)  
 保育の質の向上へ向けた取り組み(保育士による巡回指導)  
 認可外保育所保護者負担軽減事業の拡充(2人目以降の助成金引き上げ)  
 放課後児童クラブ(補助)の増(1か所)

### 【平成25年度実績】

公立保育所整備完了に伴い、定員 30名増  
 育ちの支援センター「いっぽ」開設  
 公立保育所の法人移管(H24.4月)→法人保育所の整備事業完了に伴い、定員 30名増  
 認可保育園の創設に向けた整備(H26.11月保育事業開始)  
 ※夜間保育事業実施予定(当面は22時までの延長保育実施)、放課後児童クラブの併設  
 認可外保育所保護者負担軽減事業の拡充(3人目以降の保育料無料化)に向けた取り組み  
 ※H26.4～適用

ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用支援事業の実施に向けた取り組み ※H26.4～適用  
 待機児童解消のため、認可化移行を希望する認可外保育施設への運営費助成  
 ※沖縄県待機児童対策特別事業の認可化促進(運営費支援)事業を活用

### ★子育て支援事業の進捗状況

本計画の具体事業のうち、厚生労働省が定める子育て支援サービス等について、実施状況は次のとおりです。

事業名	事業内容	計画策定時 (平成20年度)		目標事業量			平成25年3月現在	
		人数	箇所数	人数	箇所数	目標年度	人数	箇所数
通常保育 (0～2歳)	保護者の就労や病気等の事由により、家庭において十分保育することができない児童を、保護者に代わり保育所において保育を実施する事業	287人	7か所	390人	—	H26	377人	7か所
460人				—	H29			
通常保育 (3～5歳)	保護者の就労形態に応じて、週に2、3日程度、または午前か午後のみ、必要に応じて柔軟に利用できる保育サービスを提供する事業	317人	7か所	430人	—	H26	368人	7か所
460人				—	H29			
特定保育	保護者の就労形態に応じて、週に2、3日程度、または午前か午後のみ、必要に応じて柔軟に利用できる保育サービスを提供する事業	7人	3か所	10人	3か所	H26	15人	4か所
延長保育	通常の開所時間より早朝1時間早い開所や、夕刻の1時間または2時間の保育時間の延長を必要とする児童に対する保育を実施する事業	—	7か所	—	9か所	H29	—	7か所
休日保育	日曜・祝日に勤務する保護者の増加といった就労形態の多様化に伴い、多様な保育サービスの需要に応えるため、休日の保育を実施する事業	0人	—	20人	—	H29	0人	—
病児・病後児保育	児童が病中または病気の回復期にあつて集団保育が困難な期間、保育所・医療機関等に付設された専用スペース等において保育及び看護ケアを行う事業	—	1か所	—	2か所	H29	—	1か所
一時預かり	保護者の傷病、冠婚葬祭等、または育児等に伴う心理的・肉体的負担を解消する等のために必要なときに、一時的な保育サービスを実施する事業	—	3か所	—	5か所	H29	—	3か所

※特定保育の「人」は、1日1か所あたりの受け入れ人数

## 5. 現状と課題のまとめ

### (1) 地域特性（児童人口）

- 町では総人口が増加を続けており、町外出身者、県外出身者も多くなっています。また観光や飲食業などのサービス業が多く、子を持つ家庭でも、母親の就労はパート、アルバイトの占める割合が高くなっています。
- 0～5歳児(就学前児童)、6～11歳児(小学生)は増加傾向であり、特に0～5歳児では桑江中学校区域での増加が顕著となっています。町では桑江伊平地区を中心とした土地区画整理事業により今後も開発が進む予定であり、現在の保育所の受入定員と中学校区域ごとの児童数の推計を考慮し、教育・保育施設等の拡充を地域ごとに検討する必要があります。

### (2) 待機児童対策

- 子どもと子育て家庭を取り巻く状況において、もっとも大きな課題は待機児童の解消です。保育の拡大を行っても待機児童が増えていく状況の中で、「潜在的保育ニーズ」を把握し、これにもとづいた将来の保育需要を見極める必要があります。町の潜在的保育ニーズは、平成31年度で1,129人と見込まれ、26年度の保育所定員の1.46倍が算出されています。また0～2歳児の3号認定では、約1.66倍となっています。この“潜在的ニーズ”には現在認可外保育施設利用者や就労していない母親が今後就労した場合の利用希望も盛り込まれた量であり、確実に利用される量ではないが、施設整備されれば保育所を利用するニーズは非常に高いことを踏まえ、潜在的ニーズを見込んだ確保方策を図る必要があります。
- 待機児童は4月当初に比べ、10月には非常に多くなります。特に0歳児については、産休明けや育休明けでの保育ニーズに対して保育所の受け入れ枠が不足しているため、待機児童が年度内で増えていく状況にあります。ニーズ調査では、育児休業明けの保育先について、「預けたい時期に預けられない」という声が多くなっていました。女性が安心して働き、育児が出来る環境を整えるために、対応が不可欠となっています。
- 0歳児の保育とともに、5歳児保育のニーズも高くなっています。共働き家庭では、0～5歳児までの一貫した保育が望まれています。5歳児は公立幼稚園に行くことが慣習となっており、保育所においても5歳児の受け入れが限られているのが実情です。ニーズ調査でも5歳児での保育所希望が高いため、保育所での5歳児の受け入れ拡充が必要です。
- ニーズ調査では、教育・保育事業を利用する際に重視することとして「居住地の近く」という声が非常に高くなっていました。このような点も踏まえた整備を検討する必要があります。
- 認可外保育施設利用者では、多くの方が保育所の利用を希望していることがニーズ調査結果から把握されました。この希望も考慮して今回の潜在的ニーズ量を算出しており、保育の拡大により希望する教育・保育を受けられるように進める必要があります。また、認可外保育施設については、利用者の半数近くが外国人利用であり、外国人向けの認可外保育施設も多くなっています。また軍施設内からの利用も非常に多く、他市町村と状況が大きく異なっています。

### (3) 地域での子育て支援

- 家庭や地域の子育て力が低下している中、地域における子育ての支援が必要となっています。子育て相談や一時的な子どもの預かり、子どもや子育てをする保護者同士の集い・情報交換の場など、ニーズに基づきながら、多様な子育て支援について取り組みの充実が必要です。
- ニーズ調査結果では、幼稚園、保育所利用者 비해、家庭保育者の相談先が少ないこと、情報もあらゆる手段が望まれていることが伺え、孤立化している人も少なくないことが把握されました。特に、保護者に子育てについての制度やサービスの情報が伝わっていない状況があり、また、新制度が始まるという中で、幼稚園や保育所の何が変わっていくのか、保護者は子どものためにどの施設やサービスを選んでいけばいいのか、行政側の情報発信の仕方も考えなくてはなりません。地域子育て支援センターの取り組み、家庭保育者への情報提供や相談、つなぎ役（コーディネート機能）、効果的な情報提供のあり方など対応策を検討する必要があります。

### (4) 放課後の居場所づくり

- 共働き家庭が増加した現代においては、子どもの放課後の居場所が課題となっています。現在も放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）が実施されていますが、地域における安全な居場所づくりや子どもの見守りを望む保護者は多くなっています。
- ニーズ調査をみると、放課後児童クラブでは利用料金が高いという声が多くなっています。また、放課後児童クラブは学校の敷地内への設置が高く望まれており、放課後移動せず、校内で過ごすことを望む保護者の声も多いです。国においても、平成26年度に「放課後子ども総合プラン」を打ち出し、「全国の放課後児童クラブの80%以上を学校内に設置」を目標に掲げています。放課後児童クラブは小学校区単位での整備が望ましいため、これを考慮しながら、新規整備を図る必要があります。

### (5) 幼稚園について

- 公立幼稚園は5歳児のみの1年保育で実施していますが、ニーズ調査では、2年保育、3年保育といった複数年保育への声も多くありました。国の幼稚園教育要領も3歳から5歳の3年保育であり、幼児教育の充実を図るため、複数年保育の実施を検討する必要があります。
- 公立幼稚園の預かり保育について、終了時間が18:00では迎えに間に合わないため、学童を利用しているという声が多くなっています。両親共働きで就業後に迎えに行くことを考慮し、終了時間を延長するなど、対応策が求められています。
- 公立幼稚園では午後の預かり保育を実施していますが、終了時間が早いことや土曜日は未実施などの理由で放課後児童クラブを利用している子どもが見られます。放課後児童クラブは本来小学生の放課後対策事業であり、未就学児の利用は認められていません。沖縄県においては特別で補助の対象となっていました。平成27年度からは小学生に限定した事業となるため、これを受け入れる体制の整備が必要です。